

令和5年8月 斐伊川水系水質情報

令和5年8月(宍道湖2日・中海1日採水)								単位:mg/l(Chl-a: µg/l)		
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	4.3	△	平年並み	3.5	△	平年並み	4.8	△	平年並み
全窒素	上層	0.33	○	良好	0.40	○	良好(平年並み)	0.40	○	良好(平年並み)
全リン	上層	0.027	○	良好(平年並み)	0.039	△	平年並み	0.049	△	平年並み
Chl-a	上層	12	△	平年並み	4.5	△	平年並み	6.4	△	平年並み
塩化物イオン	上層	1,460	△	平年並み	6,120	○	やや低い	5,700	○	やや低い
	下層	1,520	○	やや低い	17,500	△	平年並み	13,700	△	平年並み
溶存酸素	上層	7.9		やや低い	7.6		やや低い	8.3		やや低い
	下層	6.4		やや低い	3.6		平年並み	4.5		やや低い

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.5	横ばい	3.6	横ばい	4.9	横ばい
全窒素	上層	0.44	やや下降	0.34	やや上昇	0.50	横ばい
全リン	上層	0.028	横ばい	0.028	やや上昇	0.067	やや下降

宍道湖の透明度は1.4mから1.6mと横ばいで、平年並み。中海の透明度も2.4mから2.5mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は1.7mから2.3mとやや上昇し、平年並みになっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値＋標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値＋標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値＋標準偏差値 10年間平均値 平均値－標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合には<良好>とする。
平均値－標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値－標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 …… 全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化… やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍… 全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化… 横ばい

平均値±標準偏差値の3倍… 全体のおよそ 99.7%